

県立美術館の進捗状況について

令和6年6月28日
地域社会振興部美術館

1 鳥取県立美術館竣工式・内覧会について

今年3月末に竣工し、県への引渡しを受け、4月8日(月)に竣工式を開催したところ、足羽教育長をはじめ、県議会議員、県内市町村の代表者、地域関係団体等の来賓や工事関係者を含め130名に参列していただきました。

竣工式に続き内覧会では、平井知事をはじめ式典参列者らが、設計・建設担当者の説明を受けながら、館内を見学しました。



2 毎月15日 県民向け建物内覧会の開催

(1)実施日時

5月から来年2月までの毎月15日 午前10時から11時までと午後2時から3時まで(概ね1時間)

(2)主な見学先

1階 県民ギャラリー、ショップ、カフェ、ひろま

2階 コレクションギャラリー、テラス

3階 企画展示室、展望テラス ほか

※バックヤードや屋上の見学は行いません。

※開館前の業務等の都合により変更・休止する場合があります。

(3)第1回(5月15日)の開催状況

設計を担当した楨総合計画事務所の担当者から説明(午前の部40名、午後の部41名参加)



1階ひろまから2階へ



2階 コレクションギャラリー3



3階 企画展示室



3階 展望テラス

3 開館初年度企画展、屋外設置作品について

(1)企画展の概要

借用作品の交渉中で、出品作品の詳細などは秋頃に公表予定です。

企画展名	会期
①アート・オブ・ザ・リアル 時代を超える美術 ～若沖からウォーホル、リヒターへ～	令和7年3月30日(日)～6月15日(日)
②水木しげるの妖怪 百鬼夜行展 ～お化けたちはこうして生まれた～	令和7年7月19日(土)～8月31日(日)
③めでたし うるわし ときにいさまし! ? The 花鳥画 一日本美術といきものたち一	令和7年10月18日(土)～11月30日(日)
④<国内外の現代アーティストによるグループ展> CONNEXIONS～未来とわたしたちをつなぐ～(仮称)	令和8年2月7日(土)～3月22日(日)
⑤鳥取県の美術コレクション展(仮称)	令和8年2月28日(土)～3月22日(日) ※鳥取県立博物館で開催

(2)屋外設置作品の計画

いずれも令和6年7月～令和7年2月にかけて完成・設置予定で、制作が進行中です。

設置場所	作家
①エントリーブラザ(1点)	青木野枝(あおきのえ 1958年～)による作品
②彫刻の庭(1点)	李禹煥(リ・ウーフアン 1936年～)による作品
③創作の森(3点)	SUPERFLEX(1993年結成のアーティスト集団。デンマーク拠点)による作品 鈴木昭男(すずきあきお 1941年～)による作品 リクリット・ティラヴァニ(1961年～)による作品
④3階テラス付近(2点)	中ハシクシゲ(なかはし・かつしげ 鳥取県出身 1955年～)による作品2点

3 アート・ラーニング・ラボ(A.L.L.)の主な取組について

(1) MUSEUM START BUS の全県展開

開館後の小学4年生全員の招待に向けて、今年7月に県立博物館の美術企画展「アートって、なに？」(会期:6月29日～8月25日)で試行事業を実施します。(10校310名)



(2) 対話鑑賞ファシリテーター養成

昨年度と今年度の2年間で準備期間として、同じ内容の研修を行います。ファシリテーターに登録している方には、シリーズ5回の研修を受講した上で、開館後に対話鑑賞のファシリテーターをしていただきます。

①オリエンテーション	4月21日(日)県立美術館 ホール	美術館の役割、美術館見学等
②作品を鑑賞するとは	5月11日(土)県立博物館 講堂	作品鑑賞について理解を深める
③対話型鑑賞とは	5月18日(土)県立美術館 スタジオ	対話型鑑賞の考え方とその可能性
④「きく力」とは	6月29日(土)県立博物館 講堂	コミュニケーションの基本「きく力」
⑤ファシリテーション実践	6月30日(日)県立博物館 企画展ほか	小学生来館に向けた準備

(対話鑑賞ファシリテーター希望登録者数 約80人)

(3) 教員研修(予定)

① 県教育センター主催

- ・【中学校・高等学校美術】どう料理する?! 新コレクション《ブリロ・ボックス》〜本物と出会い授業をつくる〜(8月6日) 講師:美術館職員
- ・【全教科/対話による深い学び】アートがもたらす対話で新たな自分に出会う〜美術館のラーニング・プログラムは、教育に何をもちこたすか〜(9月12日) 講師:森美術館アソシエイト・ラーニング・キュレーター白木 栄世 氏

② 美術館主催

- ・「朝鑑賞」シンポジウム2 (時期調整中) 講師:武蔵野美術大学 三澤一実教授、全国の実施校の発表
- ・「MUSEUM START BUS」来館下見を含む県立美術館見学ツアー (8月17日)

③ 学校からの依頼

- ・奥大山江府学園、「朝鑑賞」実施に係る「対話鑑賞」についての研修の実施 (夏季休業中で調整中)

4 鳥取県立美術館活用推進協議会の設立について

開館に向け、竣工した県立美術館の開館前後の活用、ならびに文化芸術と経済の振興や広範囲からの誘客など活性化へ繋げるための協議組織を県・倉吉市・関係者をもって設立しました。機運醸成や周遊アクセス等についての課題のほかに、教育、ボランティアについての意見がありました。

(1) 日時等 4月7日(日)午後5時15分から午後6時15分まで 鳥取県立美術館 1階スタジオ

(2) 参加者 鳥取県知事、倉吉市長、一市四町元気な中部を創る議員の会会長(倉吉市議会議員)、倉吉商工会議所会頭、とっとり県美応援団長、倉吉市教育長、倉吉博物館長、県教育長 等

(3) 参加者の主な発言

- ・「美術館がある街」として教育の柱の一つに(アート・ラーニング・ラボ(A.L.L.)の取組、朝鑑賞)。
- ・県民ギャラリーの利用(伝統、音楽、いろんな人、活動を紹介していけば)。
- ・ボランティアなど関わっていく人を増やす取組。

5 鳥取県立美術館開館前利活用アイデア募集について

(1) 募集期間 令和6年5月14日(火)から10月31日(木)まで

(2) 募集内容 以下活用案を含めた県立美術館の館内外を活用した取組を募集する。
利用可能なアイデアは実施していただく。

- 【活用案】
- ・県立美術館の取組や所蔵作品、企画展等を知るための説明会や研修、講演会
 - ・開館後の美術館での活動につながる各種団体等による会議、研修会
 - ・ひろまでの書道パフォーマンス、演奏や合唱の発表会 ・建物やウェディングの前撮り等の写真撮影
 - ・ひろま、えんがわ、テラスでの飲食を伴うレセプションやパーティー(強い匂いや煙が出るものを除く)

(3) 利用時間 原則、平日午前9時から午後5時 ※利活用の内容により休日、夜間利用は可能

(4) 利用料金 条例に基づき徴収(6円/m²・h) ※規定に基づく冷暖房加算、減免あり

6 その他、貸館利用現地説明会等の開催

鳥取県立美術館貸館利用現地説明会	4月21日(日)、5月15日(水)ほか 計6回 ※年度後半にも開催予定
鳥取県立美術館ボランティア TMOA+(ティモアプラス) 説明会	6月2日(日)、6月5日(水)ほか 計10回 ※年度後半にも開催予定
鳥取県立美術館 観光商品開発・連携 内覧会・説明会	6月11日(火)、12日(水) 計2回